

西鶴の文芸と茶の湯

石塚 修 著

2014年2月刊行予定

▶ A5判・320頁／定価 6,300円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1730-4

浮世草子作家の嚆矢として、江戸時代前期を代表する作家の一人、井原西鶴(1642~1693)。その文芸作品に、いかに当時の茶の湯文化が反映されていたのか、西鶴が浮世草子作家になる以前の俳諧から、浮世草子の作品全般、遺稿集にいたるまでをとりあげ、その影響関係を検証する。

西鶴は、千利休に代表される「わび茶」の美意識に強く影響を受けていた。その茶の湯観は芭蕉の求めた「わび」に通じるものであり、そのことは西鶴作品の人間観照の鋭さに深く関わっていたのである。


予定内容目次

序章	第一部 俳諧師西鶴と茶の湯
第一章 『好色一代男』にみられる茶の湯文化	第二章 『西鶴諸国ばなし』と茶の湯
第二章 『武家義理物語』卷三の二「約束は雪の朝食」再考	第三章 『日本永代蔵』の「目利き」譚
第三章 『茶の十徳も一度に皆』考	第四章 『日本永代蔵』卷四の四「茶の十徳も一度に皆」考
第四章 『茶の十徳も一度に皆』の発想の典拠／茶の湯資料から見	第五章 『西鶴名残の友』
第五章 『日本永代蔵』卷三の三「世はぬき取の観音の眼」と	第六章 『入れ歯は花の昔』にみる茶の湯文化
『茶の湯』／卷四の二「心を豊込古筆屏風」と	第七章 西鶴と「わび」
『目利き』	終章 「わび」とは何か／西鶴の「わび」

いしづか・おさむ…1961年、栃木県生まれ。1985年、筑波大学教育研究科修了。博士(学術)。現在、筑波大学人文社会系准教授。専門分野、日本近世文学・国語教育。著書、『茶道学大系9 茶と文芸』(共著、淡交社、2001年)、『江戸文学からの架橋』(共著、竹林舎、2009年)、『講座 日本茶の湯全史(近代)』(共著、思文閣出版、2013年)、『知っておきたい古典名作ライブラリー32選』(共著、明治図書出版、2009年)など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	西鶴の文芸と茶の湯		本体6,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1730-4
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い)			本書HPのQRコード	書店番線印

講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会の創立20周年記念出版。

時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素ももたせる。

最新の研究成果をふまえて茶の湯を通覧する、まったく新しい概説書。

第1巻(中世)▶46判・328頁／定価 2,625円

ISBN978-4-7842-1696-3

第2巻(近世)▶46判・330頁／定価 2,625円

ISBN978-4-7842-1697-0【未刊】

第3巻(近代)▶46判・336頁／定価 2,625円

ISBN978-4-7842-1698-7

蘭室藤村正員年譜考

白峯頭成著

庸軒流茶道の祖、藤村庸軒の三男藤村正員(1650～1733)の事跡について、自著『蘭室草』の収録作品(漢詩・和歌など)にそいながら、生涯の動向を厳密に明かした異色の年譜考。広汎な諸資料にもとづいた京坂の茶人・文人たちとの交わりは、茶道を軸とした近世文化史の一面面を伝える趣きを備えた一書。

▶A5判・480頁／定価 6,090円

ISBN4-7842-1173-X

藤村庸軒流茶書 顕岑院本(一)

白峯頭成著

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭である顕岑院には多くの庸軒流茶書が伝えられている。本書には、その中から息子の正員の庸軒の茶話を筆記したと思われる『藤村庸軒茶談』のほか、観山によって定められた庸軒流茶道の基本となる稽古次第を中心に収める。

▶A5判・528頁／定価 11,025円

ISBN978-4-7842-1624-6

藤村庸軒年譜考 [全2巻]

白峯頭成著

藤村庸軒(1613-1699)は、儒者・儒学者であり、漢学・和学におたる広い教養と、卓越した美的センスにより、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮した。本書は、庸軒の生涯の動向を、文献学的方法にもとづき厳密に明かした異色の年譜考。茶道を軸とした近世文化史の魅力余すところなく伝える一書。

▶A5判・総1848頁／定価 36,750円

ISBN978-4-7842-1456-3

公家茶道の研究

谷端昭夫著

近世における「公家茶道」を取り上げ、その独自の形態、実態と特徴、茶道史における位置づけを考察し、茶が持つ文化の内実を深める。史料「後西院御茶之湯記」を併載。【内容】公家の茶の研究／禅僧と茶一戦国期の堺を中心に／「兼見脚記」にみる公家と武家の茶／松花堂昭乗／後水尾院の茶会一「隔葉記」を中心に／近衛・一条家の茶 他

▶A5判・394頁／定価 6,825円

ISBN4-7842-1265-5

名庸集 影印と解題 [全3巻]

中本大編

寛永文化の根本史料『隔葉記』にその記述がみられる幻の史料『名庸集』。本書は信多純一氏(志水文庫)旧蔵本の全丁とあわせて、『名庸集』の一部であった『燈分集』(国立国会図書館蔵)の影印を収録し、中世から近世初期にいたる文学史・歴史・美術史などの研究に資する。また、第3巻には編者による詳細な解題を収録する。

▶A5判・総1282頁／定価 39,900円

ISBN978-4-7842-1708-3

広瀬旭荘全集 詩文篇

岡村繁・井上敏幸編

江戸末期折衷派の儒者・広瀬旭荘(1807-1863)の詩文をまとめる。

【内容】詩集(影印篇)広瀬先賢文庫(大分県日田市)所蔵の謄本を影印(写真版)で掲載／梅墩詩鈔拾遺(新編)影印篇からもれた詩篇を現在残存する諸種の写本や刊本の中から搜集編纂(活字組)／旭荘文集(新編)旭荘が他書に寄せた序や跋などを集成(活字組)

▶B5判・892頁／定価 31,500円

ISBN978-4-7842-1490-7

藤村庸軒をめぐる人々

白峯頭成著

一族の人々・門弟達・儒教の師・茶道の師・友人の儒者・医師達の事蹟をたどることで、現在も続いている庸軒流の開祖、藤村庸軒の実態について新たな角度からのアプローチを試みる。巻末には「藤村庸軒流系譜」を収録。

▶A5判・790頁／定価 17,325円

ISBN978-4-7842-1554-6

茶道望月集 顕岑院本(二)

白峯頭成編

翻刻シリーズの第2弾。本書は、藤村庸軒(1613～99)の孫弟子、風後庵又夢久保可季による享保8年(1723)成立の茶書。風後庵又夢の師、鳩庵横井等甫から伝授された「庸軒流茶法」40巻、「七ヶ条極秘切紙」3巻の内容を盛り込み、庸軒流茶法を詳述する。

▶A5判・852頁／定価 16,800円

ISBN978-4-7842-1667-3

茶譜 [全2冊]

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

近世茶書としては最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗且のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・総924頁／定価 21,000円

ISBN978-4-7842-1528-7

茶湯古典叢書5

※茶道と恋の関係史

岩井茂樹著

「恋は茶道の精神に反する」とされた一谷崎潤一郎の随筆にある興味深い一節をきっかけに、恋歌と茶道の関係茶書や茶会記に探る。茶会の掛物のほか、茶道具の銘に隠された「恋」を紹介し、なぜ恋歌が問題となり、また使われることもあったのかを明らかにする。

▶A5判・232頁／定価 3,990円

ISBN4-7842-1313-9

隔葉記 [全7巻(本篇6巻・総索引1巻)]

赤松俊秀校訂

寛永12年(1635)鳳林43歳から寛文8年(1668)まで33年にわたる自筆の日記を活字化。その記事内容はきわめて豊富で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読の一級記録。当時の宮廷文化をとりまく多彩な人物との交流が伺える。総索引の完成を機に、全7巻セットとして復刊。

▶A5判・総5130頁／定価 73,500円

ISBN4-7842-1311-2

田能村竹田基本画譜 [全2巻]

宗像健一編著

江戸後期の文人画家・田能村竹田(1777-1835)研究の決定版。図版篇には厳選された140点(カラー95点・モノクロ45点)の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。美術史の他、大分県史・煎茶・漢詩・儒学など広範な研究に益する。

▶B4判変・総398頁／定価 29,400円

ISBN978-4-7842-1566-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。